



じゃはな のぼる
謝花昇 1865(慶応元)年—1908(明治41)年

謝花昇は、1865(慶応元)年、東風平間切、現在の八重瀬町字東風平の屋号東謝花の勝太郎とカミーの長男として生まれました。

東風平小学校、沖縄県師範学校を卒業した謝花は、18歳の時に上杉茂憲県令が創設した留学制度の第1回県費留学生に選ばれ、現在の東京大学などで学び、卒業後は沖縄県出身者初の高等官として故郷の沖縄県庁に赴任しました。

当時の沖縄は、知事をはじめ行政や経済の主要な地位を県外出身者や一部の裕福な人々に占められていたため、貧しい農村出身の謝花は、階級打破の象徴として人々から敬われ、親しみを込めて「クチンダジャハナ(東風平の謝花)」と呼ばれました。

謝花は製糖法の改良、造林の指導、土地整理や銀行の設立などに携わり沖縄の産業振興に貢献しましたが、杣山の開墾問題で奈良原繁知事と対立したため県庁を辞職し、その後は仲間とともに専制的な県政の批判や沖縄県民の参政権獲得運動に身を投じました。当時の日本ではすでに国会(当時は帝国議会)が開かれ、他府県民はその代表である議員を議会に送っていたが、沖縄では選挙さえ実施されていなかった。

彼らはさまざまな妨害にあって挫折を余儀なくされ、謝花も志なかばの44歳(数え)で病のため短い生涯を閉じましたが、その活動は実り、謝花没後4年目の1912年に沖縄初の国政選挙が実施されました。



第1回県費留学生5人(右から2人目が謝花)
那覇市歴史博物館提供



東京留学時代(後列右から2人目が謝花)
「謝花昇伝」より



謝花昇の家族
「謝花昇伝」より



「勉勵」謝花昇自筆



謝花昇コーナー
(町立具志頭歴史民俗資料館常設展示室)

沖縄民権運動の先駆者

謝花昇 生誕160周年記念事業



謝花昇(1865~1908)は、琉球処分後の特殊事情下において沖縄民権運動をはじめ、沖縄の農政や税制などの各種制度の改革に取り組み、沖縄の産業振興に貢献し県民の生活と福祉向上のため、その生涯をかけて沖縄のため尽力した本町の誇れる偉大な人物です。

今年2025年は謝花昇生誕160周年の節目の年です。謝花昇のこれまでの功績を讃え、後世にその遺徳を広く顕彰することを目的に、謝花昇生誕の日である9月28日(日)に「謝花昇生誕160周年記念事業」を実施します。

記念講演

入場無料



歴史の鏡としての謝花昇
 ~時代が映し出してきた人物像~
大里知子
法政大学沖縄文化研究所教授



明治期の庶民の暮らし
 ~謝花昇が生きた時代~
萩尾俊章
沖縄民俗学会会長

日時: 2025年9月28日(日) 午後2時~(30分前開場)
 場所: 八重瀬町立中央公民館2階ホール(八重瀬町字東風平1014)
 申込不要(座席に限りがあります)

当日来場者には「義人・謝花昇略伝」を無料配布いたします。

~amaimonoフェス2~
県内のスイーツが大集合!
 出張!まんちゃーまんちゃー

11時オープン
 日時: 2025年9月28日
 主催: 八重瀬町観光物産協会

謝花昇謎解きゲーム・キッチンカーも来る!「南の駅やえせ」で開催している大人気イベント♪毎回テーマを変えて、楽しいひとときをまぜませ!今回は初めての出張開催、ぜひ遊びに来てね!

詳しくは、八重瀬町観光物産協会のInstagramをご覧ください

特別展

勉勵 沖縄民権運動の先駆者 謝花昇と沖縄の人々

期間: 2025年9月17日(水)~10月26日(日) 午前9時~午後5時
 場所: 八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館(八重瀬町字具志頭352)
 休館日 毎週月曜日・9/16、9/24、10/14 ※祝日は開館
 入館料: 一般200円 高校生以下100円



主催: 謝花昇生誕160周年記念事業実行委員会
 共催: 八重瀬町・八重瀬町教育委員会・八重瀬町観光物産協会

お問合せ 謝花昇生誕160周年記念事業実行委員会 事務局
 電話: 098-835-7500